

JAおいらせ自己改革取組宣言

これまでも、これからも、**組合員・地域の皆様**とともに
JAおいらせは「**総合事業**」を展開してまいります

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ
みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えています。

具体的な取り組みとして「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域・協同組合の活性化」に向けた主な取り組みを次の3点により紹介します

1. 地域の担い手の育成と支援・強化

担い手経営体・多様な担い手の支援のため、農業機械銀行の充実、作業受託事業の拡大により生産コストと労働力軽減に取り組みます。

【31年度 機械銀行リース件数 600件】

【31年度 機械銀行リース金額 850万円】

【31年度 作業受託面積 1,700ha】

内訳:水稲 1,300ha、人参 180ha、長芋 200ha、にんにく 20ha

2. 生産・販売戦略策定による産地づくり

管内主要品目の産地強化のため、優良種子供給体制の確立を図ります。

【31年度 採種圃面積 130a】

内訳:長芋 110a、にんにく 20a

3. くらしの活動を通じた地域 コミュニティの活性化

地域の農業とくらしを守り、組合員・地域住民の交流、連携による住みよい地域づくりを行うため、食育・食農教育の充実強化を図ります。

【バケツ稲、田植え、稲刈り収穫体験】【ジャガイモの植付け、収穫体験】

【ちゃぐりんフェスタ】【バター作り体験】【ハロウィンかぼちゃを作ろう】

※各取り組み記載の数値は平成31年度の目標値となります。